

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》小林 正伸

【概要】

成人期に多い慢性疾患やがんの病因と病気の成立機構、病状の特徴、検査の方法、診断基準、治療法に関する基本的な知識を学習する。

【学習目標】

疾患を持つ人を理解するために、成人期に多い慢性疾患や癌について学び、それらの病態、症状、検査、診断基準、治療を説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	内分泌・代謝の病態と治療	糖尿病の病態	小林
2	内分泌・代謝の病態と治療	高脂血症の病態	小林
3	内分泌・代謝の病態と治療	骨粗鬆症の病態 高尿酸血症の病態	小林
4	内分泌・代謝の病態と治療	内分泌疾患の病態	小林
5	内分泌・代謝の病態と治療	内分泌疾患の病態	小林
6	腎・泌尿器疾患の病態と治療	泌尿器疾患の病態と治療	小林
7	腎・泌尿器疾患の病態と治療	腎疾患の病態と治療	小林
8	消化器疾患の病態と治療	消化管の疾患の病態、診断、治療	小林
9	消化器疾患の病態と治療	肝疾患の病態、診断、治療 胆膵疾患の病態、診断、治療	小林
10	呼吸器疾患の病態と治療	臨床に必要な呼吸器の解剖・生理 慢性閉塞性肺疾患の病態・症状・診断・治療 気管支喘息の病態・症状・診断・治療	小林
11	呼吸器疾患の病態と治療	肺炎の病態・症状・検査・治療 肺がんの病態・症状・診断・治療	小林
12	中枢神経系疾患の病態と治療	臨床に必要な中枢神経系の解剖・生理 中枢神経系の異常に伴う症状	小林
13	中枢神経系疾患の病態と治療	中枢神経系疾患（血管障害）の病態・診断・治療 中枢神経系疾患（変性疾患）の病態・診断・治療	小林
14	循環器疾患の病態と治療	臨床に必要な循環器の解剖・生理 循環器疾患の症状・診断	小林
15	循環器疾患の病態と治療	虚血性心疾患の病態・診断・治療 うっ血性心不全の病態・診断・治療 高血圧症の病態・診断・治療	小林

【評価方法】

定期試験100%

毎回の講義で小テスト（配点2点）

【備考】

教科書：看護のための臨床病態学 南山堂

その他：講義ノート配布し、講義ノートと講義用スライドをホームページに掲載する。

【学習の準備】

事前に教科書を読む。

毎回講義では、小テストを最後に行う。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3,4

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う